

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 26 年 12 月 4 日 Ver.1.0

テーマ	準天頂衛星等を活用した多層的な情報伝達の実証	
実証参加機関 (共同機関)	西日本電信電話株式会社静岡支店 (株式会社NTTデータ公共システム事業本部)	
目的	準天頂衛星のメッセージ機能はインターネット回線等が寸断された状態であっても情報伝達できる手段の一つであるが、現在、自治体から準天頂衛星にメッセージを作成・送信する手段について、具体的な検討にはいたっていない。 本実証では、自治体自ら準天頂衛星を介したメッセージを作成・発信できる機能と、スマートフォン側に実装する準天頂メッセージを受信するアプリケーションを構築し、被験者等参加による利用実証を行い、これら機能の有効性を実証する。	
期間	全体	2014 年 12 月 8 日～2015 年 3 月 31 日
	時間・頻度	<ul style="list-style-type: none"> ●時間: 日中時間帯 ●頻度: <ul style="list-style-type: none"> ・12/15～12/19 の内、 1 日程度(5 回程度) ・1/5～1/9 の内、 1 日程度(5 回程度) ・1/13 終日 (回数検討中) ・1/16 終日 (回数検討中)
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ●地名: 静岡県静岡市 ●環境: オープンスカイ/海岸(砂浜)/森林 ●その他: 雨天実施予定 	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	別紙参照	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> ●実証概要 <ul style="list-style-type: none"> (1)受信アプリケーションをインストールした iPhone および Android 端末と、L1-SAIF 信号受信機を持ち、自治体から送信した準天メッセージを 5 分以内に受診できることを確認する。 (2) 受信アプリケーションをインストールした iPhone および Android 端末と、L1-SAIF 信号受信機を持ち、被験者が端末に表示される災害情報を参照しながら避難場所へ避難行動を実施する。 ●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) <ul style="list-style-type: none"> (1)送受信時間の計測 (2)避難時間の計測 (アンケート等による定性的評価も実施) ●確認時期 <ul style="list-style-type: none"> (1)リアルタイム (2)リアルタイム 	
受信信号	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号名を記載 <ul style="list-style-type: none"> ・GPS: L1C/A ・QZS: L1C/A、L1-SAIF 	

	・その他:他の衛星システム、屋内測位システム等
受信設備	<p>●使用する測位信号受信機などを記載</p> <p>□貸与品目／数(IOS 対応受信機 5)</p> <p>□持込品目／数(/)</p>
ソフトウェア	<p>●測位結果確認ソフトウェア</p> <p>□ソフトウェア名称／概要</p>
実証前の要求事項	有:実証実験前に、動作確認等で配信のご協力をお願いすることがございます。
実証時の要求事項	無
実証後の要求事項	無
その他	

別紙

